

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 30 日

新潟県知事 殿

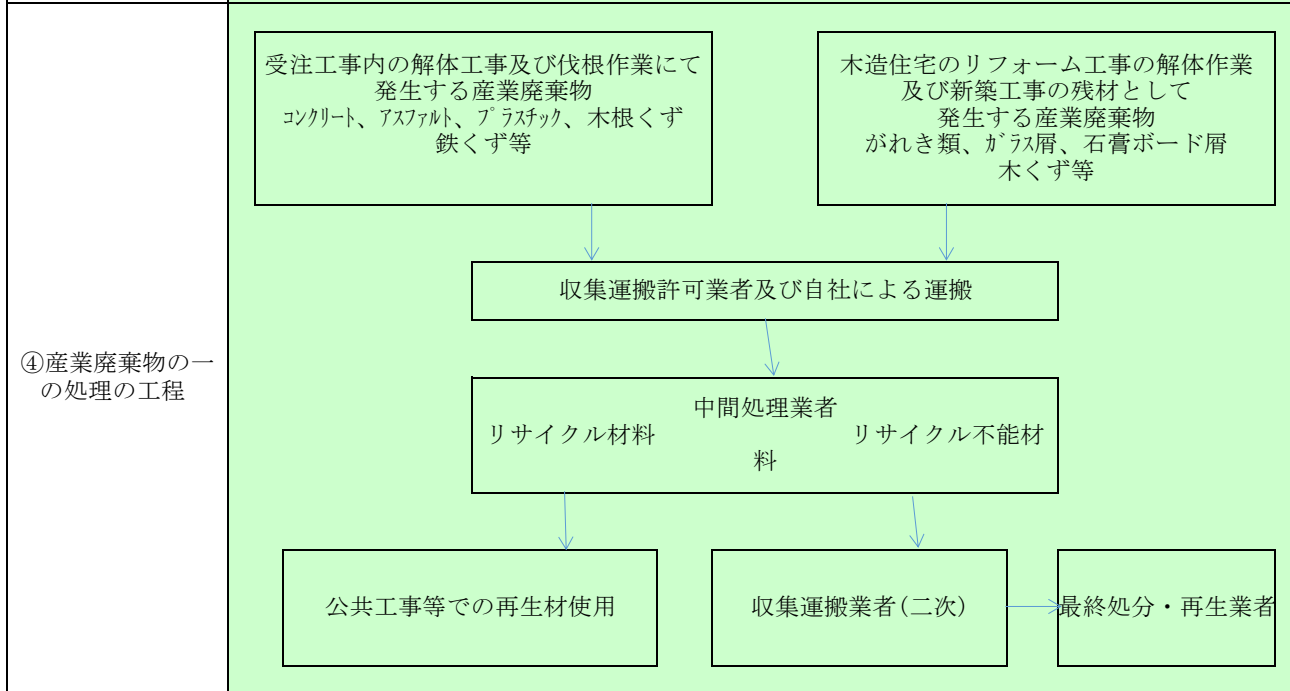
提出者
 住所 新潟県村上市仲間町一枚下り639-11
 氏名 株式会社 富樫組
 代表取締役 富樫隆教
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0254-52-4271

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 富樫組
事業場の所在地	新潟県村上市仲間町一枚下り639-11
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

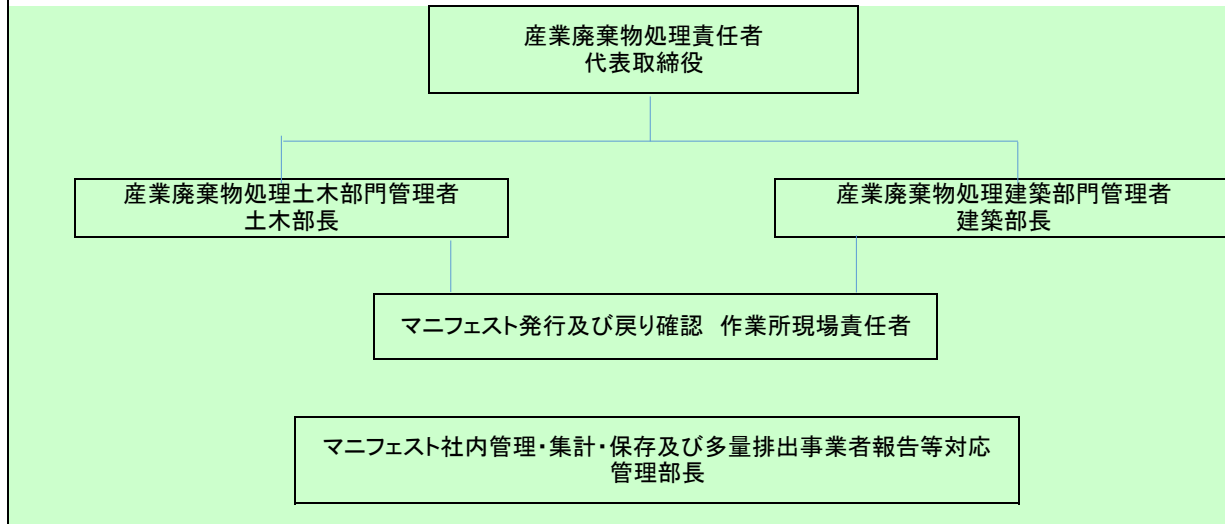
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	一般土木建築工事業
②事業の規模	完成工事高 1466百万円
③従業員数	46名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード	
排出量	25.60 t	130.46 t	0.55 t	21.91 t	1,112.33 t	0.02 t	0.01 t	1.62 t	
産業廃棄物の種類	建築混合								
排出量	12.21 t								
(これまでに実施した取組)									
民間建築工事の建築混合廃棄物について「廃プラスチックと木くず」分別の励行と廃石膏ボードのリサイクルの推進									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード	
排出量	10.00 t	100.00 t	1.00 t	10.00 t	550.00 t	0.01 t	0.01 t	1.00 t	
産業廃棄物の種類	建築混合								
排出量	10.00 t								
(今後実施する予定の計画)									
民間建築工事の建築混合廃棄物について「廃プラスチックと木くず」分別の励行と廃石膏ボードのリサイクルの推進									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類のコンクリートくず、アスファルトくずの分別は容易だが、その他がれき類として瓦、レンガ等が混ざると再生材として利用不可能材となるので留意した
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) その他がれき類の分別で瓦、レンガ等の分別を推進し、利用不可能材の発生を減少させる

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（6年度）実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t							
	(これまでに実施した取組)								
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t							
	(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（6年度）実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t							
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t							
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
	全処理委託量	25.60 t	130.46 t	0.55 t	21.91 t	1,112.33 t	0.02 t	0.01 t	1.62 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	25.60 t	130.46 t	0.55 t	21.91 t	1,112.33 t	0.02 t	0.01 t	1.62 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	全処理委託量	12.21 t							
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t							
	再生利用業者への処理委託量	12.21 t							
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t								
(これまでに実施した取組)									
産業廃棄物を委託できる業者の社内リスト及び「社団法人 新潟県産業廃棄物協会」会員情報から選定し書面による契約を実施									

【目標】		廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	がれき類	石綿管等	水銀使用製品	廃石膏ボード
② 計画	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	10.00 t	100.00 t	1.00 t	10.00 t	550.00 t	0.01 t	0.01 t	1.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	10.00 t	100.00 t	1.00 t	10.00 t	550.00 t	0.01 t	0.01 t	1.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建築混合							
	全処理委託量	10.00 t							
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t							
	再生利用業者への処理委託量	10.00 t							
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.00 t								
(今後実施する予定の取組)									
継続的に委託実績のある処理業者から委託先を選定する。委託先処理業者の処理場の現地確認を徹底する。									
※事務処理欄									